

株主の皆様へ

JR-West's Business Report

第30期 中間事業報告

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

 京都鉄道博物館
kyoto railway museum

西日本旅客鉄道株式会社

株主の皆様へ

平素は、JR西日本グループの事業運営にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、平成17年4月25日に福知山線列車事故を惹き起こした責任と重大性を重く受け止め、安全で安心・信頼していただける鉄道を築き上げることに、グループを挙げて役員・社員が一丸となって取り組んでおります。今後も事故に真摯に向き合い、安全な鉄道を築き上げるべく、私をはじめ社員一人ひとりが日々の業務の中で一層の努力を積み重ねてまいります。

当社グループは、平成25年3月に「JR西日本グループ中期経営計画2017」と「安全考動計画2017」を策定し、「めざす未来～ありたい姿～」の実現に向け、3つの基本戦略と、4つの事業戦略から成る重点戦略をグループ一体となって推進しております。昨年4月には、当初2年間の取り組みの振り返りと経営環境の変化を踏まえ、同計画をアップデートし、目標達成に向けて取り組むべき施策の修正・追加を行いました。

今年度は中期経営計画の4年目として、最終年度の目標達成に向け、これまでの取り組みを継続するとともに、さらに将来に向けて必要な施策の追加も行いながら、中長期的な企業価値向上に向けて取り組んでおります。

当社を取り巻く経営環境は、人口減少や対抗輸送機関との競合など引き続き厳しい状況が続いておりますが、一方で、訪日観光客の増加、アクティブシニアの活発化など、追い風にできる成長の機会もあり、こうした環境の変化、成長の機会を敏感に捉え、中期経営計画に沿って必要な施策をグループ全体で推進してまいります。

今後とも、中長期的な視点から、安全性向上と企業価値の向上に向け、しっかりと取り組むとともに、株主様との関係においては、長期安定的な株主還元、適切な情報開示と建設的な対話に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月



代表取締役社長 来島達夫

事業の経過及び成果

①全般の状況



当社は、平成17年4月25日、福知山線塚口・尼崎間において、106名のお客様の尊い命を奪い、500名を超えるお客様を負傷させるという、極めて重大な事故を惹き起こしました。福知山線列車事故で被害に遭われた方々へ、引き続き真摯に向き合い対応してまいります。

当社は「被害に遭われた方々に誠心誠意と受け止めていただけるような取り組み」「安全性向上に向けた取り組み」「変革の推進」を「経営の3本柱」と定めており、全力で取り組んでおります。

当社グループは、平成25年3月に、「JR西日本グループ中期経営計画2017」とその中核をなす「安全考動計画2017」を策定し、昨年4月にそれまでの振り返りと経営環境の変化を踏まえ、「JR西日本グループ中期経営計画2017」をアップデートし、目標の達成に向けた取り組みの修正、追加を行いました。

本年度は「JR西日本グループ中期経営計画2017」の4年目として、最終年度の目標達成に向け、企業価値を向上させるために必要な取り組みを着実に実施しております。

当第2四半期連結累計期間においては、本年4月の熊本地震の影響や北陸新幹線の開業効果が一巡したこと等により運輸収入は減収となりました。鉄道事業以外においては、流通業がセブン-イレブン・ジャパンとの提携店舗の売上げが順調に推移したことにより増収となった一方、不動産業は前年同期のマンション分譲の反動減により減収となりました。

このような状況の中ではありますが、安全、CS等の取り組みについては、中期経営計画に沿って必要な投資や施策を積極的に推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比1.3%減の7,003億円、営業利益は同11.0%減の983億円、経常利益は同11.2%減の885億円、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は同13.5%減の571億円となりました。

当社を取り巻く経営環境は、激甚化する自然災害、人口減少や対抗輸送機関との競合、不安定な経済情勢等将来

ホームの安全対策

「昇降式ホーム柵」を六甲道駅、高槻駅に設置し、
「可動式ホーム柵」を大阪駅に設置します。

当社では、お客様のホームからの転落や列車との接触を防ぐためにホーム柵の開発、整備を進めております。

「昇降式ホーム柵」はロープを上下に昇降させることで、異なる扉枚数の列車に対応できるホーム柵です。

六甲道駅で試作運行を行っていたものを実用化したほか、高槻駅1、6番のりばにも整備しております。

「可動式ホーム柵」はすでに設置している、北新地駅、大阪天満宮駅、京橋駅1番のりば等に加えて、平成29年春頃の使用開始をめざして、大阪駅6、7番のりば、京橋駅2番のりばにも整備いたします。今後もハード、ソフトの両方の取り組みを進めて、安全、安心してご利用いただける駅づくりを推進してまいります。



高槻駅昇降式ホーム柵



大阪駅可動式ホーム柵の設置イメージ

の見通しが難しい状況が続いております。引き続き、安全性向上を大前提として、北陸新幹線開業2年目における効果の定着化やシニア需要、訪日観光客需要の獲得に向けた取り組み等各施策をグループ全体で推進してまいります。セグメント別の業績は、次のとおりであります。

②セグメント別の状況

運輸業

営業収益 4,617 億円
(前年同期比0.9%減)

営業利益 745 億円
(前年同期比11.5%減)

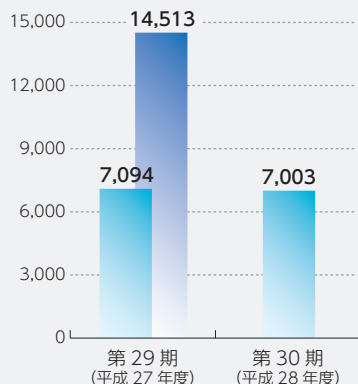
鉄道の安全性向上に向けて、平成25年に策定した「安全考動計画2017」のもと各種施策を推進しております。重点項目として、激甚化する自然災害への対処、ホームの安全性向上、死亡に至る鉄道労災防止、リスク管理の強化、安全における内部監査の充実と外部視点の活用等を進めております。

激甚化する自然災害への対処については、京阪神を中心に豪雨災害に対する取り組みとして、斜面防災工事等を実施するなど、防災強度向上の取り組みを進めております。地震対策等としては、高架橋柱や駅舎の耐震補強工事を行ったほか、山陽新幹線で整備を進めている逸脱防止ガードについて、昨年度に完了した新大阪・姫路間に引き続き、姫路・博多間において整備しております。

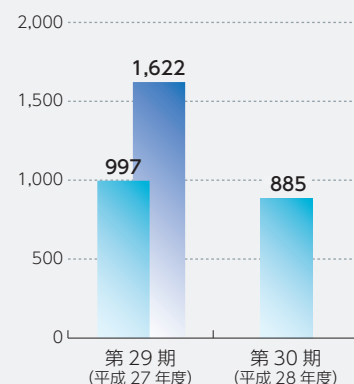
ホームの安全性向上については、ホーム柵の整備を進めており、本年3月に京橋駅1番のりば、高槻駅1、6番のりばにおいて使用開始しておりますが、平成29年春頃の使用開始をめざして大阪駅6、7番のりば、京橋駅2番のりばにも整備し、今後もハード、ソフトの両方の取り組みを進めてまいります。また、京橋駅、新今宮駅に設置している遠隔セキュリティカメラを平成28年12月に三ノ宮駅にも設置し、安全、安心してご利用いただける駅づくり

全般の状況

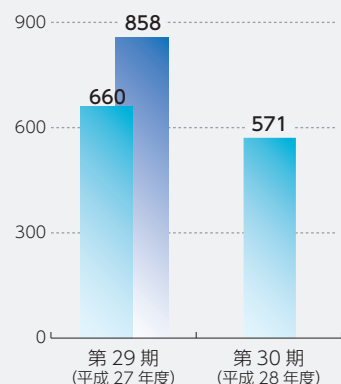
営業収益(億円)



経常利益(億円)



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(億円)



を一層推進してまいります。

リスク管理の強化については、リスクアセスメントを推進する指導者層の育成や系統横断的な課題対処に向けたリスクアセスメントの推進等に引き続き取り組むとともに、本年度より有効性の高いリスクアセスメントの事例を全社で共有化する取り組み等を進めております。また、「ヒューマンエラー」に関する情報を全社員がそれぞれの立場で報告し、分析、活用していく全員参加型の安全管理を実現していくための手段の一つとして、本年度より「ヒューマンエラー」に対する処分、マイナス評価の見直しを行いました。これにより、報告文化の一層の醸成を図り、重大事故の未然防止に取り組んでおります。

さらに、昨年度より安全管理体制が有効に機能しているか確認し、必要により改善するために、社外の第三者機関による評価を実施いたしました。本年6月に評価結果を受け、内部監査人の教育の強化等、実行可能な内容は速やかに実施するとともに、準備に時間の要する内容についても、次期安全計画に反映させ、安全管理体制のレベルアップ及び安全管理体制監査の充実を図ってまいります。

営業施策等については、アップデートした「JR西日本グループ中期経営計画2017」のもと山陽新幹線のご利用促進、北陸新幹線開業2年目における効果の定着化、シニア需要、訪日観光客需要の獲得、近畿エリアにおける輸送品質の向上や線区価値向上、西日本各エリアの観光活性化等に取り組んでおります。

山陽新幹線については、本年4月に発生した熊本地震により減退した観光需要の復興に向けて、九州運輸局、九州観光推進機構等と連携した「九州観光復興キャンペーン」を実施し、販売促進に取り組みました。また春季に「晴れの国おかやまデスティネーションキャンペーン」を開催し、観光列車「ラ・マル・ド・ボア」の運行等による着地素材の魅力付けに取り組み、多くのお客様にご利用いただきました。夏季には、同キャンペーンの盛り上げを維持すべく、広島エリアを含めた「せとうちキャンペーン」を開催し、クルーズ・サイクリング等瀬戸内の魅力を発信し、ご好評をいただきました。

北陸新幹線については、開業効果の2年目の定着化に向けて、「開業1周年キャンペーン」や「出張応援キャンペーン」の開催、北陸エリアでテレビCMを実施するなど、ビジネス・観光双方での需要喚起に取り組むとともに、関西、北陸、信越エリアの相互流動拡大に向け、行政、経済界、旅行業界を対象とした「関西・北陸交流会」を開催いたしました。

シニア需要の獲得については、50歳以上のお客様にお得な割引きっぷや旅行商品をご提案する「おとなび」の会員向け乗り放題きっぷ「おとなびパス」や「おとなびWEB早特」を再発売、延長発売する等需要喚起の取り組みを推進し、ご好評をいただいております。

さらに、訪日観光客需要の拡大に向けた取り組みとして、関西～北陸エリア～東京の広域観光周遊ルート商品「大阪・東京『北陸アーチパス』」を本年4月から設定しております。また、受入態勢整備の一環として、大阪駅では、観光案内や旅行に関する各種相談対応、外貨両替、チケット販売等のサービスを一体的に提供する「Travel Service Center OSAKA」を大阪府、公益財団法人大阪観光局と連携して来年3月に開設いたします。また、関西空港駅では、現状上階を含めて最大8窓口のみどりの窓口を、ワンフロアで最大14窓口拡大し、外国語にも対応できる窓口を増設するなど販売機能を来年3月に強化いたします。

魅力あふれる大阪環状線をめざして



大阪環状線改造プロジェクト

当社では、大阪環状線の改造プロジェクトを展開しています。これは、沿線の大規模開発や人口の都心回帰など、大阪環状線を取り巻く環境が大きく変化する中で、お客様満足度向上の観点から、駅や車両といった鉄道機能の充実をはじめさまざまな取り組みでイメージアップを図り、新しい価値の創出をめざすものです。

「行ってみたい」「乗ってみたい」…そんな魅力あふれる線区へ改造することで、お客様や大阪を訪れる皆様のご利用を拡大し、地域の皆様とともに大阪活性化の一端を担います。

安全性と快適性を高めた 新型車両323系を順次投入!



大阪環状線のカラーであるオレンジ色を基調とした先進の323系車両

大阪環状線に平成28年度から、安全性と快適性が大きく向上した新型車両323系を順次投入し、平成30年度末までに、国鉄時代に

製造された大阪環状線内の103系・201系通勤形電車の全てを置き換える予定です。

323系の開発コンセプトは「安全・安心の向上」「機器の信頼性向上（安定輸送）」「情報提供の充実」「人に優しい快適な車内空間」。このコンセプトのもと、先進的な仕様や設備を取り入れ、随所にきめ細かいデザインを施しており、大阪環状線の象徴として、皆様に愛され続ける車両となることをめざして、開発いたしました。



バリアフリー対応を充実させた、人に優しい快適な車内空間

「明るい、きれい、わかりやすい」を基本コンセプトに

全駅的美装・改良を進めています。

森ノ宮駅をモデル駅として、駅全体の美装、改良工事が平成27年度に完了しました。



森ノ宮駅 改良前

森ノ宮駅は北西に大阪城公園が広がる緑豊かなエリアで、駅改良にあたっては「森」をコンセプト

として駅や商業施設の空間構成を行いました。

また線区全駅で、安全で快適な駅空間をめざして、トイレや案内サインの改良など各駅で美装、改良を進めています。12月には商業施設を新設した桃谷駅が全面開業します。



森ノ宮駅 改良後



森ノ宮駅コンコース等、案内サインの改良

近畿エリアの輸送品質の向上の取り組みについては、大阪環状線改造プロジェクトの一環として新型車両「323系」の導入を本年度内に予定しております。さらに駅設備の向上として桃谷駅に改札口を新設し、京阪神の駅のコンコースにベンチを設置しております。

京都梅小路エリアにおいては「地域と歩む鉄道文化拠点」をめざし、本年4月に「京都鉄道博物館」をグランドオープンし、ご好評をいただいております。また、嵯峨野線京都・丹波口間の新駅のデザインなど概要を決定し、本年9月に起工式を開催いたしました。

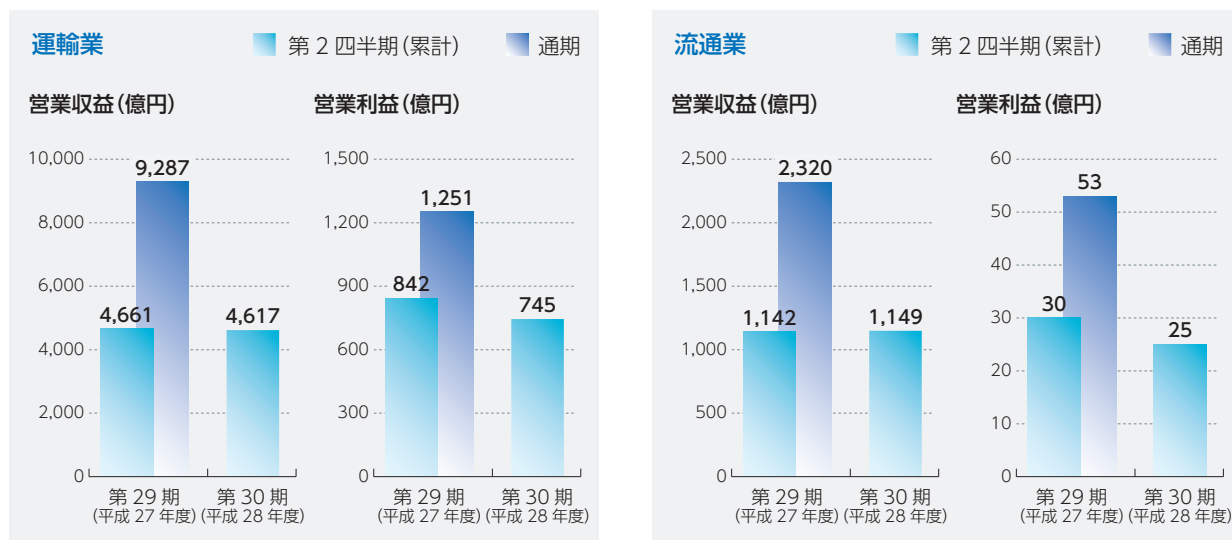
このほか、西日本各エリアの観光誘客や地域活性化等に向けた取り組みである、「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の平成29年の運行開始に向けて、昨年度より運行ルート、車両デザイン、車内クルーの制服デザインを発表してまいりましたが、本年度は車内クルーの採用及び研修、立ち寄り駅の改修計画の発表、葉加瀬太郎氏のアンバサダー就任等、運行開始に向けた準備を着実に進めております。

また、新たな信号システム装置の開発、設計、製造等を推進すべく、平成21年から技術提携を行っている日本信号株式会社と資本提携を結ぶため、同社株式の一部を取得いたしました。

なお、三江線の江津・三次間につきましては、沿線自治体の皆様と丁寧な議論を重ねた結果、本年9月に鉄道事業の廃止の意思表示をしております。平成30年4月1日を廃止予定日として、今後新たな交通プランの策定に協力し地元の皆様との協議を進めてまいります。

バス事業、船舶事業（宮島航路）については、安全輸送を基本とし、お客様のご利用に応じた輸送改善等の実施により、利便性向上に努めました。

これらの取り組みを推進してまいりましたが、本年4月の熊本地震の影響、北陸新幹線の開業効果が一巡したこ



と、昨年のシルバーウィークの反動減等により、運輸業セグメントの営業収益は前年同期比0.9%減の4,617億円、営業利益は同11.5%減の745億円となりました。

流通業

営業収益 **1,149** 億円
(前年同期比0.5%増)

営業利益 **25** 億円
(前年同期比17.5%減)

セブン-イレブン・ジャパンとの提携店舗については、京阪神主要駅でおみやげとセブン-イレブンの複合型店舗「アントレマルシェ」の開業や、本年7月に北陸3県で最大売場面積の「セブン-イレブン ハートインJR金沢駅店」を開業するなど、本年度新たに81店舗を開業して274店舗となり、売上げも順調に推移しております。

また、飲食店の市中展開を目的に、昨年8月に連結子会社の株式会社ジェイアール西日本フードサービスネットが株式取得した「からふね屋珈琲株式会社」を本年6月に吸収合併いたしました。

この結果、流通業セグメントの営業収益は前年同期比0.5%増の1,149億円、営業利益は同17.5%減の25億円となりました。

不動産業

営業収益 **504** 億円
(前年同期比5.5%減)

営業利益 **168** 億円
(前年同期比4.8%減)

「LUCUA osaka」では、より多くのお客様にご利用いただける商業施設をめざし、本年8月から21店舗が新しく

JR西日本グループ初となるショッピングセンターの 市中展開【吹田グリーンプレイス】

大阪府吹田市片山町のJR西日本社宅跡地に「吹田グリーンプレイス」が平成28年6月8日にオープンしました。JR西日本グループのショッピングセンターでは初めてとなる駅近接立地以外での事業展開であり、緑豊かなオープンモール型の施設に、食品スーパーやドラッグストアに加え、レストランやカフェ、クリニックなどを揃えております。豊かな暮らしを創出するライフスタイルセンターとして、地域の住民の皆様にご活用いただき、ひいては街のブランド向上に貢献できる施設をめざしてまいります。



オープンいたしました。今後も「LUCUA osaka」及び「OSC」全体のさらなるにぎわいの向上をめざしてまいります。

また、本年4月にJR塚口駅前の再開発として駅ビル「ビエラ塚口」、同6月にショッピングセンターとしてはJR西日本グループ初の市中での事業展開となる「吹田グリーンプレイス」、同8月にJR桃谷駅前に高架下商業施設「ビエラ桃谷」を開業し、ピオレ姫路本館の大規模リニューアルを実施しております。将来の成長に向けて商業施設等のリニューアルを順次進めてまいります。

これらの取り組みを推進してまいりましたが、前年同期のマンション分譲の反動減により、不動産業セグメントの営業収益は前年同期比5.5%減の504億円、営業利益は同4.8%減の168億円となりました。

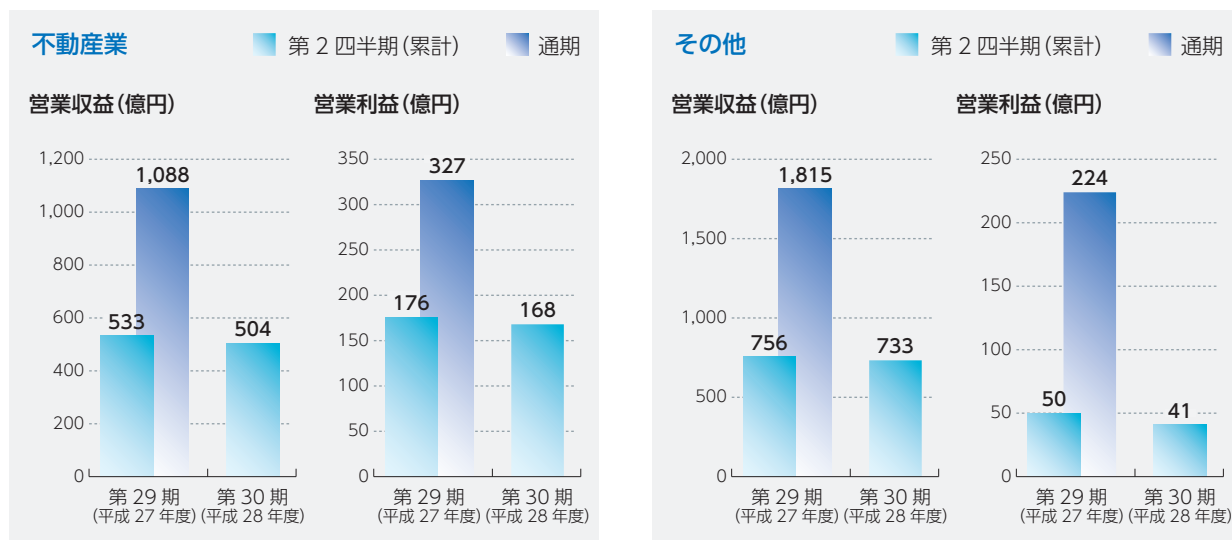
その他

営業収益 **733** 億円
(前年同期比3.1%減)

営業利益 **41** 億円
(前年同期比17.6%減)

ホテル業については、訪日観光客の獲得に向けた販売拡大等に取り組みました。旅行業については、訪日観光客需要の獲得に向けた営業展開の強化、インターネット販売の充実等を図るとともに、鉄道利用商品の販売拡大に取り組みました。これらの取り組みの結果、ホテル業、旅行業ともに、訪日観光客が増加し増収となりました。一方、工事業については、建設工事等における安全、品質の向上を図るとともに受注拡大に努めましたが、大型件名の受注の反動減により減収となりました。

この結果、その他セグメントの営業収益は前年同期比3.1%減の733億円、営業利益は同17.6%減の41億円となりました。



四半期連結貸借対照表(要旨)

(平成28年9月30日現在)

(単位 百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間
(資産の部)	
流動資産	321,772
固定資産	2,485,167
有形固定資産	2,229,737
無形固定資産	26,342
投資その他の資産	229,087
資産合計	2,806,939
(負債の部)	
流動負債	463,836
支払手形及び買掛金	43,484
短期借入金	16,524
1年内償還予定の社債	30,000
1年内返済予定の長期借入金	38,364
鉄道施設購入未払金	16,270
1年内支払予定の長期未払金	49
未払金	49,465
未払消費税等	11,568
未払法人税等	21,583
前受運賃	43,049
前受金	34,535
賞与引当金	36,663
ポイント引当金	2,277
その他	119,998
固定負債	1,374,654
社債	474,980
長期借入金	345,605
鉄道施設購入長期未払金	106,722
繰延税金負債	3,204
新幹線鉄道大規模改修引当金	2,083
環境安全対策引当金	20,158
未引換商品券等引当金	2,496
退職給付に係る負債	315,833
その他	103,571
負債合計	1,838,491
(純資産の部)	
株主資本	902,336
その他の包括利益累計額	17,024
非支配株主持分	49,087
純資産合計	968,448
負債・純資産合計	2,806,939

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書(要旨)

(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

(単位 百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間
営業収益	700,372
営業費	602,012
運輸業等営業費及び売上原価	508,644
販売費及び一般管理費	93,368
営業利益	98,359
営業外収益	2,297
受取利息	19
受取配当金	289
受託工事事務費戻入	133
持分法による投資利益	990
その他	863
営業外費用	12,128
支払利息	11,483
その他	644
経常利益	88,528
特別利益	5,138
工事負担金等受入額	3,940
その他	1,197
特別損失	9,021
工事負担金等圧縮額	3,772
減損損失	2,528
その他	2,720
税金等調整前四半期純利益	84,645
法人税、住民税及び事業税	18,193
法人税等調整額	8,467
四半期純利益	57,984
非支配株主に帰属する四半期純利益	867
親会社株主に帰属する四半期純利益	57,117

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社役員に関する事項 (平成28年9月30日現在)

取締役及び監査役の氏名等

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
取締役会長 (取締役会議長)	真鍋 精志	
取締役	石川 正	弁護士人大江橋法律事務所 特別顧問
取締役	佐藤友美子	追手門学院大学地域創造学部 教授、学校法人追手門学院成熟社会研究所長 日本放送協会経営委員会 委員
取締役	村山 裕三	同志社大学大学院ビジネス研究科 教授
取締役	齊藤 紀彦	株式会社きんでん 相談役、近畿車輛株式会社 社外取締役
取締役	宮原 秀夫	大阪大学大学院情報科学研究科 招聘教授、一般財団法人アジア太平洋研究所 理事・所長 一般社団法人ナレッジキャピタル 代表理事、大阪瓦斯株式会社 社外取締役 日本放送協会経営委員会 委員
取締役相談役	佐々木隆之	大阪瓦斯株式会社 社外取締役
代表取締役社長 兼 執行役員	来島 達夫	「経営の3本柱」に関すること
代表取締役副社長 兼 執行役員	吉江 則彦	社長補佐全般、安全性向上に関すること、鉄道技術の革新に関すること 鉄道本部、安全研究所、構造技術室、建設工事部担当
代表取締役副社長 兼 執行役員	長谷川一明	社長補佐全般、創造本部担当
取締役 兼 常務執行役員	二階堂暢俊	福知山線列車事故ご被害者対応本部、福知山線列車事故対策審議室 監査部、企業倫理・リスク統括部、総務部、財務部、東京本部担当
取締役 兼 常務執行役員	緒方 文人	変革の推進に関すること、総合企画本部、IT本部、秘書室、広報部、人事部担当
取締役 兼 常務執行役員	平野 賀久	近畿統括本部担当
取締役 兼 常務執行役員	半田 真一	安全性向上に関すること、鉄道本部安全推進部担当
常勤監査役	菊池 保孝	
常勤監査役	千代 幹也	
監査役	勝木 保美	勝木公認会計士事務所 公認会計士 住友精化株式会社 社外取締役、サカタインクス株式会社 社外取締役
監査役	筒井 義信	日本生命保険相互会社 代表取締役社長 株式会社帝国ホテル 社外取締役、パナソニック株式会社 社外取締役

(注) 1. 取締役石川正、佐藤友美子、村山裕三、齊藤紀彦及び宮原秀夫の5氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 常勤監査役千代幹也、監査役勝木保美及び筒井義信の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

「企業理念」・「安全憲章」

安全を最優先する企業風土の構築に向けて、当社の目指すべき姿、全社員が共有すべき価値観等を示した「企業理念」を制定し、平成18年4月1日から施行しております。あわせて、最大の使命である安全の確保に向けて、社員一人ひとりが具体的に行動を起こせるよう、安全に関する具体的な行動指針として「安全憲章」についても大幅な見直しを行いました。今後も引き続き、この「企業理念」「安全憲章」の具現化を図り、安全性向上、信頼回復に全力で取り組んでまいります。

JR西日本 企業理念

1. 私たちは、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全第一を積み重ね、お客様から安心、信頼していただける鉄道を築き上げます。
2. 私たちは、鉄道事業を核に、お客様の暮らしをサポートし、将来にわたり持続的な発展を図ることにより、お客様、株主、社員とその家族の期待に応えます。
3. 私たちは、お客様との出会いを大切にし、お客様の視点で考え、お客様に満足いただける快適なサービスを提供します。
4. 私たちは、グループ会社とともに、日々の研鑽により技術・技能を高め、常に品質の向上を図ります。
5. 私たちは、相互に理解を深めるとともに、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる企業づくりを進めます。
6. 私たちは、法令の精神に則り、誠実かつ公正に行動するとともに、企業倫理の向上に努めることにより、地域、社会から信頼される企業となることを目指します。

安全憲章

私たちは、2005年4月25日に発生させた列車事故を決して忘れず、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全の確保こそ最大の使命であるとの決意のもと、安全憲章を定めま

1. 安全の確保は、規程の理解と遵守、執務の厳正および技術・技能の向上にはじまり、不断の努力によって築きあげられる。
2. 安全の確保に最も大切な行動は、基本動作の実行、確認の励行および連絡の徹底である。
3. 安全の確保のためには、組織や職責をこえて一致協力しなければならない。
4. 判断に迷ったときは、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
5. 事故が発生した場合には、併発事故の阻止とお客様の救護がすべてに優先する。

JR西日本グループ中期経営計画2017 (平成25年3月策定)

中期経営計画のあらまし

経営ビジョンを具体化するため、JR西日本グループの「めざす未来～ありたい姿～」を新たに掲げました。「3つの基本戦略」と「4つの事業戦略」からなる「重点戦略」を実行するとともに、「基盤づくり」を進め、「社会の一員としての責任」を果たし、これからの時代の「新しいJR西日本グループ」の実現に向けて、「次の一歩」を踏み出します。

なお、平成27年4月30日に、2年間の振り返り・評価・課題を踏まえた「JR西日本グループ中期経営計画2017 進捗状況と今後の重点取り組み（アップデート）」を公表しております。

2013-2017

重点戦略

3つの基本戦略

- 安全 安全考動計画2017
- CS 顧客起点の経営
- 技術 絶え間ない革新



4つの事業戦略

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 新幹線 | 「高める」 | 西日本各エリア | 「活かす」 |
| 近畿エリア | 「磨く」 | 事業創造 | 「伸ばす」 |

基盤づくり

- 技術力の向上
- コミュニケーションの改善
- ヒューマンファクターの理解と活用
- 現場力の向上
- 人材の確保・育成と働きがい
- グループの一体化
- お客様、社会との連携

社会の一員としての責任

- コンプライアンス
- ディスクロージャー
- 危機管理
- 地球環境

これからの時代の 「新しいJR西日本グループの姿」

経営ビジョン

事業活動を通じて西日本地域の活性化に貢献するために、安全マネジメントにおいて卓越し、お客様、地域、社会から信頼される企業グループをめざします。

めざす未来～ありたい姿～

「私たちの使命」を果たします。

「安全」「CS」とそれを支える「技術」にこだわり、鉄道を社会基盤として持続的に運営する使命を果たすとともに、安全で豊かな社会づくりに貢献します。



「地域共生企業」となります。

地域の皆様との交流と連携を深め、JR西日本グループ一体でエリアに即した事業を展開することにより、鉄道の品質を高めるとともに非鉄道事業拡大と新たな事業創造を促進して、地域の活性化に貢献します。

現在

未来

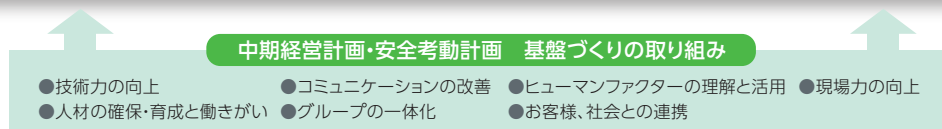
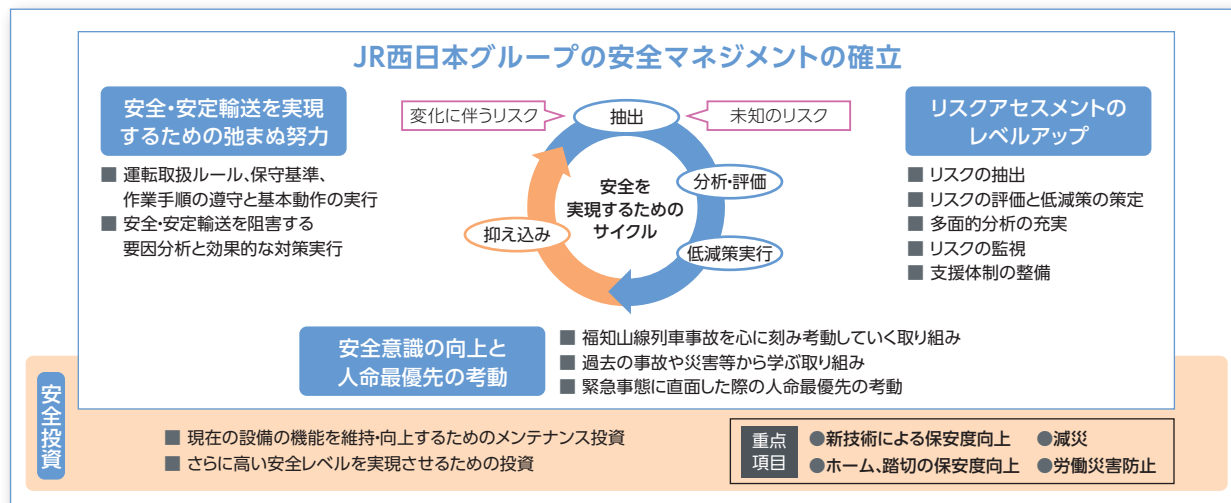
安全考動計画2017 (平成25年3月策定)

「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない。」これは、JR西日本グループの責務であり、変わらぬ決意です。

この決意のもと、JR西日本グループの鉄道サービスをご利用いただくお客様を安全に目的地までご案内するとともに、その業務に携わる誰もが怪我や死亡に至ることがないように、安全のレベルを着実に向上させるために取り組むべき行動を具体化したものが「安全考動計画」です。

この計画では、具体的な数値目標を掲げ、安全性向上に向けて継続して取り組んでいくこととしています。「お客様が死傷する列車事故ゼロ」「死亡に至る鉄道労災ゼロ」を5年間を通じた目標に、「ホームにおける鉄道人身障害事故3割減」「踏切障害事故4割減」「部内原因による輸送障害5割減」を5年後の目標とし、この実現に向けて「安全・安定輸送を実現するための弛まぬ努力」「リスクアセスメントのレベルアップ」「安全意識の向上と人命最優先の考動」「安全投資」の4つの柱に重点的に取り組んでまいります。

安全考動計画2017



2017年度までの5年間を通じた目標	お客様が死傷する列車事故 ゼロ	死亡に至る鉄道労災 ゼロ	
2017年度の到達目標	ホームにおける鉄道人身障害事故 3割減	踏切障害事故 4割減	部内原因による輸送障害 5割減

JR西日本グループの概要 (平成28年9月30日現在)

当社グループは、当社、子会社147社及び関連会社17社で構成され、その営んでいる主要な事業及び企業集団の概要図は、次のとおりであります。

お客様 及び 取引先

運輸業

〈鉄道事業〉


- ・ 嵯峨野観光鉄道(株)
- ・ 関西高速鉄道(株)※
- ・ 大阪外環状鉄道(株)※

〈旅客自動車運送事業〉

- ・ 中国ジェイアールバス(株)
- ・ 西日本ジェイアールバス(株)

〈船舶事業〉

- ・ JR西日本宮島フェリー(株)



流通業

〈百貨店業〉

- ・ (株)ジェイアール西日本伊勢丹

〈物販・飲食業〉

- ・ (株)ジェイアール西日本デیلیーサービスネット
- ・ (株)ジェイアール西日本フードサービスネット
- ・ (株)ジェイアールサービスネット広島
- ・ (株)ジェイアールサービスネット岡山

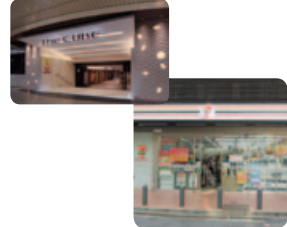
- ・ (株)ジェイアールサービスネット金沢
- ・ (株)ジェイアールサービスネット福岡
- ・ (株)ジェイアール西日本ファッショングッズ

〈各種物品等卸売業〉

- ・ ジェイアール西日本商事(株)

〈その他流通業〉

- ・ JR西日本山陰開発(株)



不動産業


〈不動産販売・賃貸業〉

- ・ 京都駅ビル開発(株)
- ・ 大阪ターミナルビル(株)
- ・ JR西日本不動産開発(株)

〈ショッピングセンター運営業〉

- ・ 天王寺SC開発(株)
- ・ JR西日本SC開発(株)
- ・ 京都駅センター(株)
- ・ 富山ターミナルビル(株)

- ・ 山陽SC開発(株)
- ・ 金沢ターミナル開発(株)
- ・ 神戸SC開発(株)
- ・ 中国SC開発(株)
- ・ (株)和歌山ステーションビルディング
- ・ (株)新大阪ステーションストア
- ・ JR西日本大阪開発(株)
- ・ (株)京都駅観光デパート



その他

〈ホテル業〉

- ・ (株)ジェイアール西日本ホテル開発
- ・ (株)ホテルグランヴィア広島
- ・ (株)ホテルグランヴィア大阪
- ・ (株)ホテルグランヴィア岡山
- ・ 和歌山ターミナルビル(株)
- ・ 三宮ターミナルビル(株)

〈旅行業〉

- ・ (株)日本旅行

〈貸自動車業〉

- ・ JR西日本レンタカー&リース(株)

〈広告業〉

- ・ (株)JR西日本コミュニケーションズ

〈車両等設備工事業〉

- ・ (株)ジェイアール西日本テクノス
- ・ (株)ジェイアール西日本新幹線テクノス

〈機械等設備工事業〉

- ・ (株)JR西日本テクシア

〈電気工事業〉

- ・ 西日本電気テック(株)
- ・ 西日本電気システム(株)

〈土木・建築等コンサルタント業〉

- ・ ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)
- ・ アジア航測(株)※

〈建設事業〉

- ・ 大鉄工業(株)
- ・ (株)レールテック
- ・ (株)ジェイアール西日本ビルト
- ・ 広成建設(株)※

〈清掃整備事業〉


- ・ (株)ジェイアール西日本メンテック
- ・ (株)ジェイアール西日本広島メンテック
- ・ (株)ジェイアール西日本金沢メンテック
- ・ (株)ジェイアール西日本福岡メンテック
- ・ (株)ジェイアール西日本岡山メンテック
- ・ (株)ジェイアール西日本福知山メンテック
- ・ (株)ジェイアール西日本米子メンテック

〈情報サービス業〉

- ・ (株)JR西日本ITソリューションズ
- ・ 鉄道情報システム(株)※

〈その他〉

- ・ (株)ジェイアール西日本リネン
- ・ (株)ジェイアール西日本総合ビルサービス
- ・ (株)ジェイアール西日本マルニックス
- ・ JR西日本フィナンシャルマネジメント(株)
- ・ (株)JR西日本カスタマーリレーションズ
- ・ (株)JR西日本交通サービス
- ・ (株)ジェイアール西日本ウェルネット



西日本旅客鉄道(株)

(注) ※は、持分法適用関連会社を示しております。

株主様アンケート集計結果のご報告

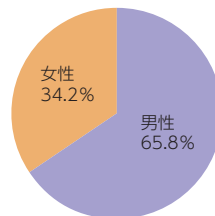
平成28年6月～7月に実施いたしました株主様アンケートにつきまして、多くの株主様にご協力をいただき、心より御礼申し上げます。主な集計結果を以下のとおりご報告申し上げます。

《実施概要》

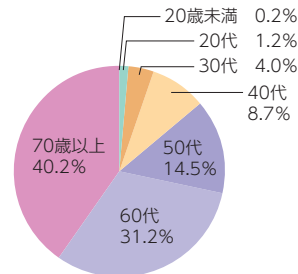
実施期間：平成28年6月23日～7月31日(必着)
 対象：平成28年3月末時点で100株以上保有の株主様
 回答数：18,995名

株主様について

●性別

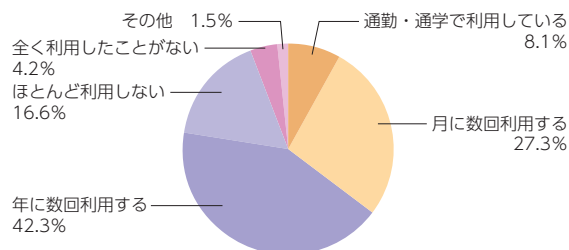


●年齢

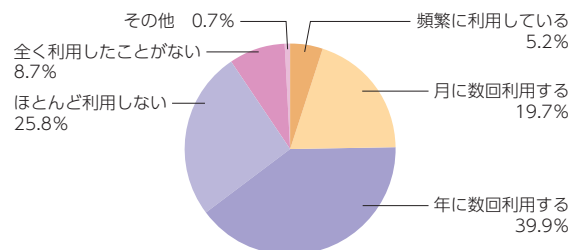


当社のご利用状況について

Q 当社の鉄道をどれくらいご利用になりますか？

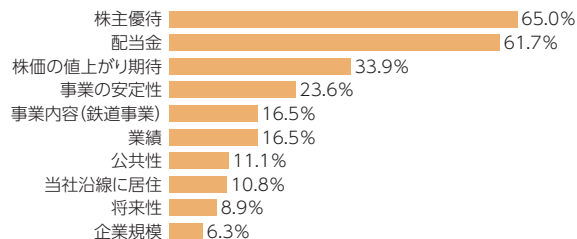


Q 当社関連の商業施設(駅ビル、物販・飲食店舗等)をどれくらいご利用になりますか？

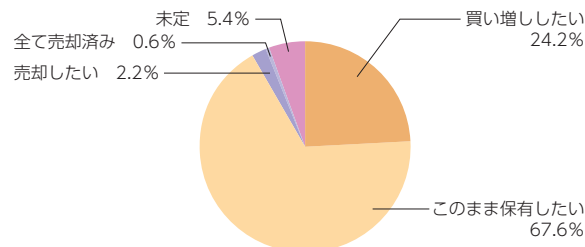


当社株式について

Q 当社株式を取得・保有されている理由は何ですか？(複数回答可)《上位10位まで》

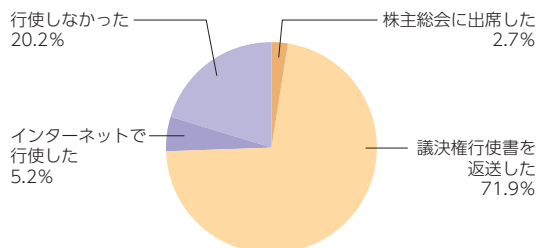


Q 当社株式について、今後どのような方針をお持ちですか？



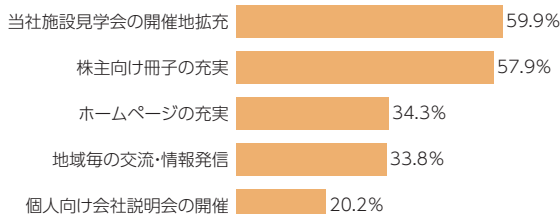
株主総会について

Q 当社の今年の株主総会について、議決権を行使されましたか？



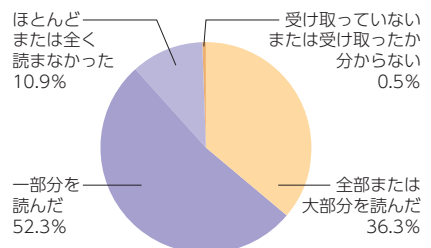
株主の皆様への取り組みについて

Q 今後、株主様への取り組みとして望まれることは何ですか？(複数回答可)《上位5位まで》

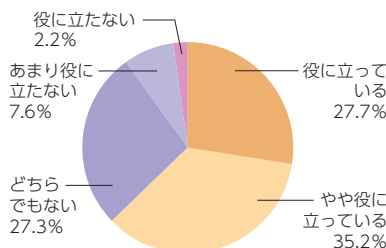


ビジネスレポート等の株主様向け冊子について

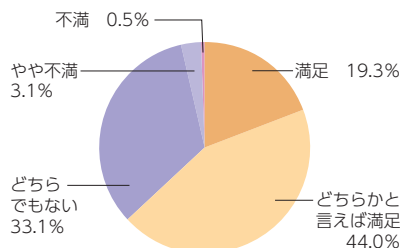
Q 「第29回定時株主総会招集ご通知」をご覧いただけましたか？



Q 議決権行使に役に立っていますか？

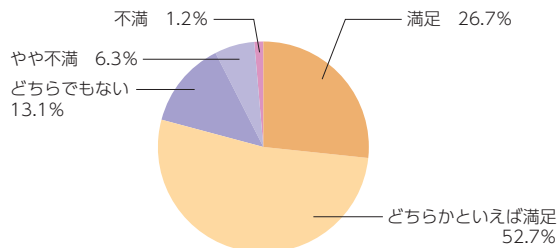


Q 図表等の見易さはいかがですか？



当社について

Q 株主様としての当社の評価をお聞かせください。



【当社の経営に望まれること】の自由記述欄では、「安全安定輸送を第一に、社会の期待に応えられる企業であり続けてほしい」など「安全」に関するものが最も多く、「西日本地域の豊富な観光資源をもとに、事業の発展につなげてほしい」などの「地域共生」に関するお声も多数寄せられました。

このほか、本年4月に開業した「京都鉄道博物館」や「株主優待」、「株主施策」などに関し、様々なお声が寄せられました。

ご回答いただきました結果については、株主様に向けた今後の取り組みの参考とさせていただきます。

株主優待制度

毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主の皆様に対し、毎年5月下旬に以下のような「株主優待割引券」(以下「優待券」という。)をご送付いたします。

鉄道優待割引

送付枚数

保有株式数	鉄道優待券(通常発行)	鉄道優待券(追加発行) 1単元(100株)でも3年以上継続保有
100株～299株	100株ごとに1枚	追加はございません
300株～499株	100株ごとに1枚	1枚追加
500株～999株	100株ごとに1枚	2枚追加
1,000株～1,099株	100株ごとに1枚	3枚追加
1,100株～10,099株	10枚+1,000株超過分 200株ごとに1枚	3枚追加
10,100株～19,999株	55枚+10,000株超過分 300株ごとに1枚	3枚追加
20,000株～	100枚	3枚追加

割引率

- 優待券1枚のご使用で50%割引
※2枚以上の同時使用はできません。

割引対象のきっぷ

- 運賃……片道乗車券
- 料金……特急券、急行券、グリーン券及び指定席券
- 1枚の優待券で運賃と料金ともに割引となります。

※寝台を利用する場合は、運賃・料金とも割引の対象といたしません。

※グランクラスを利用する場合は、運賃のみを割引の対象とし料金は割引の対象といたしません。

割引対象の区間

- 当社の営業路線内とします。

取扱箇所

- 当社の駅とします。
※当社係員がいない駅など、一部お取扱いできない駅があります。

JR西日本ホテルズ優待割引

送付枚数

保有株式数	宿泊優待券	レストラン優待券
100株～1,099株	100株ごとに1枚	100株ごとに2枚
1,100株～10,099株	15枚	30枚
10,100株～19,999株	20枚	40枚
20,000株～	25枚	50枚

割引率

- 宿泊優待………1泊1室の基本室料を30%割引
- レストラン優待……5名様までのご飲食料金を10%割引
※一部ご利用いただけないレストランがあります。

対象となるホテル

- ホテルグランヴィア京都、ホテルグランヴィア大阪、ホテルグランヴィア和歌山、ホテルグランヴィア岡山、ホテルグランヴィア広島、奈良ホテル、三宮ターミナルホテル、ホテル「ホップイン」アミング

ヴィアイン優待割引

送付枚数

保有株式数	宿泊優待券
100株～1,099株	100株ごとに1枚
1,100株～10,099株	15枚
10,100株～19,999株	20枚
20,000株～	25枚

割引率

- 1泊1室の基本室料を30%または20%割引
- 対象となるホテル
- 30%割引…ヴィアイン東京大井町、ヴィアイン秋葉原、ヴィアイン新宿、ヴィアイン東銀座、ヴィアイン浅草、ヴィアイン金沢、ヴィアイン名古屋新幹線口、ヴィアイン京都四条室町、ヴィアイン新大阪、ヴィアイン新大阪ウエスト、ヴィアイン心斎橋、ヴィアイン心斎橋長堀通、ヴィアイン岡山、ヴィアイン広島、ヴィアイン広島銀山町、ヴィアイン下関
- 20%割引…ヴィアイン姫路

ジェイアール西日本伊勢丹優待割引

送付枚数

保有株式数	お買物	レストラン・喫茶・美容室	写真室、貸衣装	駐車場
100株～499株	100株ごとに3枚	3枚	1枚	6枚
500株～1,099株	100株ごとに3枚	6枚	2枚	12枚
1,100株～10,099株	45枚	6枚	2枚	12枚
10,100株～19,999株	60枚	6枚	2枚	12枚
20,000株～	75枚	6枚	2枚	12枚

割引率

- お買物、レストラン・喫茶・美容室、写真室、貸衣装の各優待…10%割引
- 駐車場優待…お買物による駐車サービス(通常2時間)を1時間延長

対象となる店舗

- ジェイアール京都伊勢丹
- ルクア大阪内 イセタン各ショップ(お買物、レストラン・喫茶の各優待のみご利用いただけます)

※その他店舗及び「スバコ・ジェイアール京都伊勢丹」ではご利用できません。

※ルクア大阪内10階の「ルクアダイニング」については、平成28年3月31日(木)をもちまして優待サービスを終了させていただきました。

※ルクア大阪内地下2階、地下1階のイセタン各ショップについては、平成29年1月下旬からリニューアル工事実施による営業終了のため、ご利用できません。

日本旅行優待割引

送付枚数 一律1枚

割引率(1枚で2名様までご利用可能)

- 国内旅行商品「赤い風船」5%割引
- 海外旅行商品「マッハ」5%割引、「ベストエクセレント」3%割引、「ベスト」3%割引
- 対象となる店舗
- 日本旅行の直営店舗(一部店舗を除く)

株式に関する事項 (平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数 800,000,000株

発行済株式の総数 193,735,000株

(注)発行済株式の総数には、自己株式673株を含んでおります。

株主数 147,225名

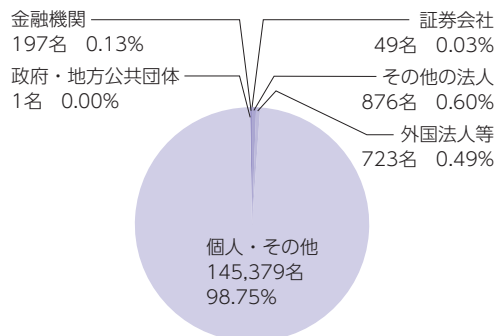
上位10名の株主

株主名	持株数(持株比率)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,816,700株 (4.03%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,278,600 (3.76)
株式会社三井住友銀行	6,400,000 (3.30)
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,300,000 (3.25)
株式会社みずほ銀行	4,600,000 (2.37)
日本生命保険相互会社	4,000,000 (2.06)
JR西日本社員持株会	3,695,800 (1.91)
三井住友信託銀行株式会社	3,200,100 (1.65)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,076,900 (1.59)
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	2,611,858 (1.35)

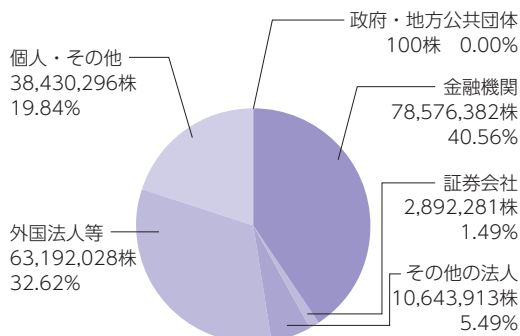
(注)持株比率の算定にあたっては、発行済株式の総数から自己株式673株を除いております。

所有者別分布状況

株主数



所有株式数



(注)「個人・その他」には、自己株式673株を含んでおります。

株主様限定 当社施設見学会のご案内

株主の皆様へ当社の事業内容へのご理解を一層深めていただけるよう、次のとおり施設見学会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

見学場所 網干総合車両所(兵庫県揖保郡)

開催日時

	開催日	予定時間	集合・解散場所
①	平成29年3月23日(木)	13:00~17:00頃	JR網干駅(予定)
②	平成29年3月24日(金)	13:00~17:00頃	JR網干駅(予定)

募集人数 同伴者様を含め80名様(各日40名様)

※株主1名様につき、同伴者1名様まで可。なお、同伴者は株主の方でなくても結構ですが、小学生以上の方に限ります。

対象者 平成28年9月30日現在、当社株式を100株(1单元)以上ご所有の株主様

参加費 無料

※ただし、集合・解散場所までの往復交通費及び宿泊費等は参加者様のご負担をお願いいたします。

※駐車場はご用意しておりませんので、お車での来場はご遠慮ください。

応募方法 同封の参加申込はがきに必要な事項をご記入の上、お申込みください。

なお、応募多数の場合は、ご所有株式数100株(1单元)につき1口のお申込みとして、抽選させていただきます。

※参加申込はがきには、参加希望日をいずれか一つお選びいただくとともに、同伴者の有無、ご連絡先となる電話番号を必ずご記入ください。

(お名前・ご住所のご記入は不要です。)

応募締切 平成29年1月10日(火)必着

抽選結果及び詳細のご連絡 抽選結果のご連絡及び参加いただく株主様への詳しいご案内は、平成28年9月30日現在の株主名簿に記載されたご住所宛に、平成29年2月下旬頃にご送付する予定です。




その他

- 車両所構内につき、見学ルートには段差、階段の昇り降りがございます。また、安全確保のため、ヘルメットをご着用の上、構内をお歩きいただくところがありますので、あらかじめご了承ください。
- ご応募に際していただいた個人情報は、施設見学会の実施及び今後の株主様向け活動のためにのみ使用し、他の目的には使用いたしません。
- 当日、当社にて撮影した写真等は、当社のIR・広報活動等において使用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 荒天等、諸般の事情により内容が変更または中止となる場合があります。その場合は当選された株主様にご連絡を差しあげます。
- 当選した権利を他人(ご家族、他の株主様を含む)に譲渡することはできませんのでご了承ください(ネットオークションへの出品を含め、転売目的での応募は固くお断りいたします)。

● お問い合わせ

西日本旅客鉄道株式会社総務部(株主センター)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
(インターネット) (ホームページURL)	http://www.westjr.co.jp/company/ir/koukoku/
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
(インターネット) (ホームページURL)	http://www.smb.jp/personal/agency/

株式に関する住所変更等のご照会及び お届出について

株式に関するお手続き(届出住所、姓名等の変更、配当金の振込方法、振込先の変更、単元未満株式の買取・売渡請求等)のご照会及びお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、以下のいずれかの窓口にご連絡ください。
(証券会社で口座開設されている株主様)
当該証券会社にご連絡ください。
(証券会社で口座を開設されていない株主様)
三井住友信託銀行にご連絡ください。(下記もご参照ください。)

特別口座について

株券電子化の施行日(平成21年1月5日)前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は、三井住友信託銀行に開設された口座(特別口座)に記録されています。特別口座の詳細につきましては、左記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。

マイナンバー制度のご案内について

株式の税務関係の手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出など)において、株主様のマイナンバーが必要となりますので、口座のある証券会社にお届出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、左記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。



※この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。